

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-533543(P2004-533543A)

【公表日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-043

【出願番号】特願2003-510468(P2003-510468)

【国際特許分類】

|        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| C 22 C | 19/05 | (2006.01) |
| B 22 F | 3/10  | (2006.01) |
| C 22 C | 19/07 | (2006.01) |
| F 16 C | 33/10 | (2006.01) |
| F 16 C | 33/12 | (2006.01) |
| F 16 C | 33/14 | (2006.01) |

【F I】

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| C 22 C | 19/05 | Z |
| B 22 F | 3/10  | G |
| C 22 C | 19/07 | Z |
| F 16 C | 33/10 | D |
| F 16 C | 33/12 | B |
| F 16 C | 33/14 | A |

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月31日(2005.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重量%で、Cr:5~30、Mo:0~15、Ni:0~25、W:0~15、C:0~5、Si:0~5、B:0~5、Fe:0~5、Mn:0~5、他の元素を合計で最大10および残部がCoである組成を有する1種または複数の合金と、3~15重量%のSnと、1~6重量%の固体潤滑剤とを含んでなることを特徴とする焼結材料。

【請求項2】

前記スズの含有量が4から10重量%の範囲内であることを特徴とする請求項1に記載の焼結材料。

【請求項3】

前記コバルト基合金における前記その他の元素がCu、V、Nb、Al、およびTaの1つまたは複数を含むことを特徴とする請求項1または2に記載の焼結材料。

【請求項4】

前記材料が約10体積%以下の気孔率を有する請求項1~3のいずれか1つに記載の焼結材料。

【請求項5】

請求項1に記載の焼結材料を製造する方法において、重量%で、Cr:5~30、Mo:0~15、Ni:0~25、W:0~15、C:0~5、Si:0~5、B:0~5、Fe:0~5、Mn:0~5、他の元素が合計で最大10および残部がCoである組成を有する1種または複数の前記コバルト基合金を含む粉末を、前記材料の3~15重量

%を提供するSn粉末および前記材料の1～6重量%を提供する固体潤滑粉末と混合するステップと、前記粉体混合物を圧縮して圧粉体を得るステップと、前記圧粉体を制御環境下において焼結するステップとを含むことを特徴とする方法。